

はつらつ座安っ子



【学校だより: 令和4年7月 第7号】
豊見城市立座安小学校 校長: 具志直哉

なかよく かしく たくましく

～主体的に他者と協働し、豊かな学び方を身に付け、夢や目標を持って粘り強く生きる子～

座安小学校の全職員は、子どもたち1人ひとりを認め、受け入れ、持っている「可能性を拓き伸ばす教育」の実践をめざし、全力でがんばります！

いくつかの詩をご紹介します。大人として、親として、そして教師として、子どもとの適切な接し方、関わり方等を考えるヒントになれば、と思います。

子どもは、いつの時代も、どこの地域でも同じです。けれど環境が変われば、大人が変われば、子どもたちは自ずと変わっていくように思います。

子どもたちが健やかに、伸び伸びと成長できるような環境をつくり、子どもとよりよい関わり合いのできる大人でありたいです。



子どもにうつる親の顔
子どもにうつる親の顔
母 「よしちゃん」
子 「何よ」
母 「よしちゃん」
子 「お母ちゃん」
母 「お母ちゃん」
子 「お母ちゃん」
母 「お母ちゃん」
子 「お母ちゃん」
母 「お母ちゃん」
子 「お母ちゃん」

二人の子どもにはあんな思いはさせたくない
大人になって今、子どもが二人いる
幼稚園に入ってからいじめっこのいたずらっこになったママがぼくの手を引いてよくあやまりに行った
ママに手を引かれるのがうれしかった
三歳になるまでおむつがとれなかったママはぶつぶつ言いながらぼくのおむつを取り替えた
それでもなんだか気分がよくなった
一歳と二ヶ月の時弟が生まれた
それ以後ぼくはママにだっこされた記憶がない
それでもなんだか
「おとうちゃん、ポストのようになってどうなってるの？」
「袋が入ってるんだろー！」
「お母ちゃん、ポストの中ってどうなってるの？」
「集めるに来る時刻が書いてるだろ、張り込んでみな！」
「お母ちゃん、十八時って何時のこと？」
「午後六時のことよ」
「おばあちゃん、二十時って何時のこと？」
「時計を見ながら教えてみな！」
「おばあちゃん、平熱って何度のこと？」
「三十六度か七度だろ」
「おじいちゃん、平熱って何度のこと？」
「体温計を持つてきな、比べてみっか」
教えるとは
何だろう



夏休み！ 親子で育つ、とっておきの情報！

第6号では、「自学・自習」「自ら進んで学ぶ力」について述べ、学校での取組を紹介し、「家庭学習力」については、家庭へのご協力（「認めてほめる」「はげます」等）をお願いしました。

これから夏休みに入ります。子ども達の「自学・自習」を育む上で、大切な期間となります。世の中は大きく進歩し、IT社会、予測困難な時代などと言われますが、親と子の関わりは、今も昔もあまり変わらないように思います。下記を参考に、親子にとって有意義な夏休みにしていただきたいと思います。

<伸びていく子は！>

- ① 小学校の低学年の時に親が寄り添って学習を見ていた。
- ② 小学校の低学年から家の仕事を決めて、しっかり仕事をさせていた。

子どもの「自ら学ぶ力」を伸ばす保護者の関わり方

<各学年の特徴>

<低学年 1～3学年>

★ 学習を通して親子関係を築くもっとも大切な1000日間

- ① 親が子どもの学習をまともに援助できるのはこの時期だけ。
- ② 話し言葉から読み言葉、書き言葉へと進む時期であり学力の基礎を築く時期
- ③ 大人が寄り添わなければ子どもは一人で学習に取り組めない時期

<高学年 4～6学年>

★ 一人勉強の習慣をつけさせる大切な時期（「自学・自習」「自ら進んで学ぶ力」）

- ・調べる力 ・質問する力 ・まとめる力 ・発表する力 ・協働して学ぶ力
- ☆親子で 百人一首 カルタ トランプ 学習ゲーム 読書タイム クッキング などをしては！！ スマホゲームなどを親子で楽しむのもいい！



家事労働は子どもの学力も伸ばす

<こんなトクが！>

- ① 手先が器用になり、頭も働く。
- ② 計画性、段取り能力、責任感が育つ。
- ③ 何事にも真面目に取り組めるようになる。
- ④ 家族の一員としての自覚が育つ。
- ⑤ やさしくなる。

<お願い>

ねぎらいの言葉かけを！！ お金を与えるのは考えものですよ。



やる気の扉
やる気があれば
自分が変わる
周囲が変えられる
人生が変わる
偏差値でさえも
知能指数でさえも
やれる気があれば
「やる気を起こせ」といっくら言っても
やる気はなかなか
起らない
「やる気を起こせ」と言わなくても
やっとなんか
一緒に喜んでやる気が
不思議とやる気が
わいてくる
責めないで
認めなくて
励まして
やる気の扉は
そこの開く

親と子の関わりは、子どもの「自ら学ぶ力」を伸ばすためだけではありません。親子の会話やふれあい、ともに過ごす時間が増えるほど、子どもの心の平穏、安定、そして活力とやる気は増していきます。親や保護者は、子どもの心と頭、そして体の安全・安心・成長を支えているのです。